



平成26年4月14日

各 位

上場会社名 ファーマライズホールディングス株式会社
 代表取締役社長 大野 利美知
 (コード番号 2796)
 問合せ先責任者 専務取締役執行役員 秋山 昌之
 (TEL 03-3362-7130)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成26年1月14日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成26年5月期通期連結業績予想数値の修正(平成25年6月1日～平成26年5月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	37,000	1,810	1,640	700	93.33
今回修正予想(B)	37,920	1,360	1,080	410	51.71
増減額(B-A)	920	△450	△560	△290	
増減率(%)	2.5	△24.9	△34.1	△41.4	
(ご参考)前期実績 (平成25年5月期)	33,357	1,411	1,228	958	127.73

(注)平成25年12月1日を効力発生日として普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行いました。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しております。

修正の理由

売上高は、処方せん単価が予想を上回る水準で推移したため、平成26年4月の薬価改定(薬価ベース▲5.7%)の影響は受けるものの、前回予想を上回る見込みであります。一方、利益面は、前回予想を下回る見込みですが、これは、第3四半期連結累計期間の利益実績が予想を下回ったこと、及び平成26年4月の薬価改定、消費増税の影響で利益水準の低下が見込まれることによるものであります。

調剤売上は薬剤料と技術料で構成されますが、処方せん単価上昇の一因となる処方日数の長期化により、薬剤料の構成比が予想より高くなっております。第3四半期連結累計期間の利益実績が予想を下回った主な要因は、薬剤料の構成比上昇に伴い材料費(医薬品原価)や租税公課の負担が予想を上回り利益水準を下げたこと、また、店舗展開に備えた早めの人員採用により労務費や人件費が増加したこと、高付加価値戦略に係るシステム投資に伴い償却負担が増加したこと等によるものであります。

平成26年4月の診療報酬改定につきましては、在宅医療や後発医薬品を従来から推進してきた成果により、大きな影響は回避できるものと予想しております。しかしながら、薬価改定(薬価ベース▲5.7%)及び消費増税による利益水準引き下げの影響は大きく、第3四半期連結累計期間における要因と合わせ、利益面の業績予想につきましては下方修正いたします。

なお、当期純利益は前期実績と比較して548百万円の減少となりますが、このうち466百万円は前期に計上した持分法適用関連会社の連結子会社化に伴う段階取得に係る差益によるものであります。

以 上